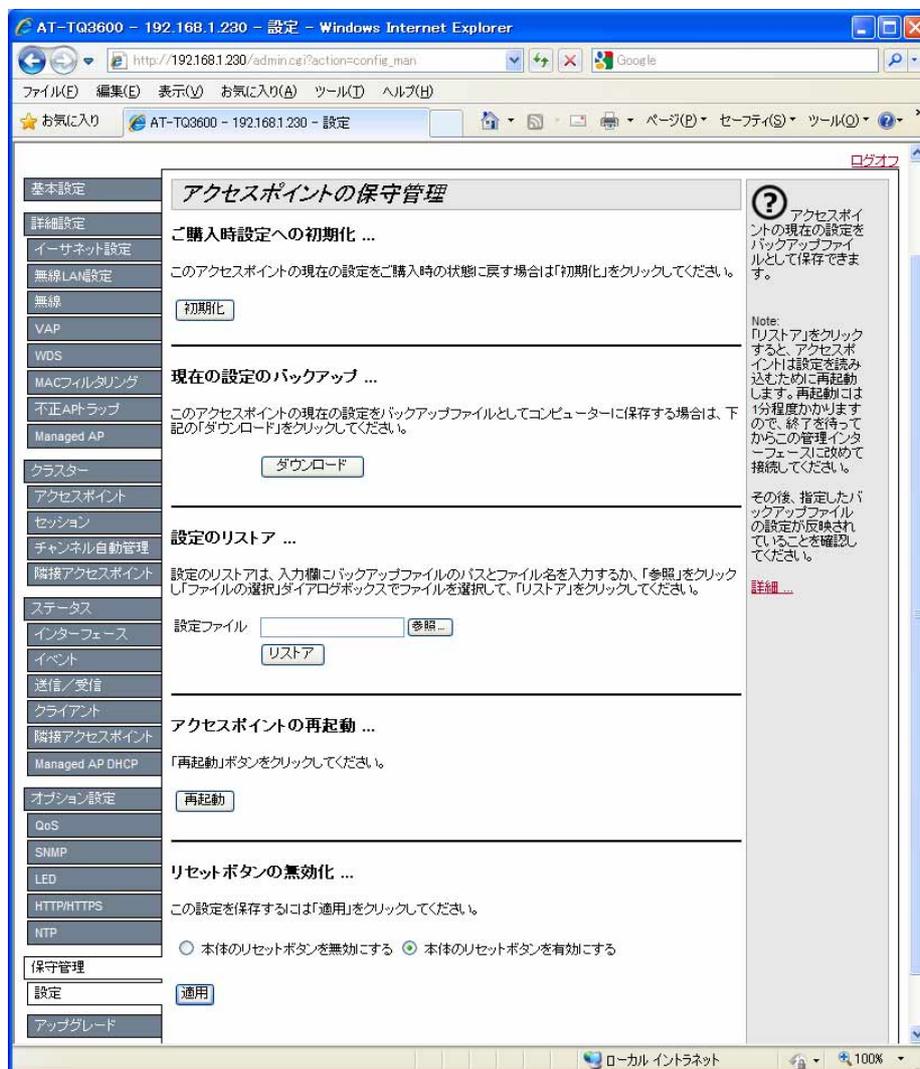


# 保守管理

設定 . . . . .	2
ご購入時設定への初期化 . . . . .	2
現在の設定のバックアップ . . . . .	3
設定のリストア . . . . .	3
アクセスポイントの再起動 . . . . .	4
リセットボタンの無効化 . . . . .	4
アップグレード . . . . .	5
アップグレード . . . . .	6
予備のファームウェアイメージでブートする . . . . .	6

## 設定

現在の設定の保守を行います。



## ご購入時設定への初期化

このアクセスポイントの設定をご購入時の状態に戻します。

1. 「初期化」ボタンをクリックしてください。
2. 設定が初期化されると、本製品は再起動します。再起動には1～2分かかります。
3. 初期化により、IP アドレス、パスワードなどが初期設定値に戻ります。Web ブラウザーのアドレス欄に「http://192.168.1.230/」を入力し、Enter キーを押してください。

☞ 設定が初期化されると「IP アドレスの取得」が「DHCP」となります。DHCP サーバーが存在しないネットワーク環境でこの IP アドレスにアクセスしてください。「詳細設定」/「イーサネット設定」画面

で「IPアドレスの取得」を変更できます。

4. ユーザー名「**manager**」、初期パスワード「**friend**」を使用してログオンしてください。

- 🔌 再起動が完了するまで本製品の電源を切らないでください。
- 🔌 本製品がクラスターに属している場合、初期化は、初期化を実行した本製品のみ適用されます。その結果、本製品はクラスターから抜けます。
- 🔌 IPアドレスとして初期設定値「192.168.1.230」を使用していた場合、再起動後、自動的にログオン画面が現れますので、ユーザー名「**manager**」、初期パスワード「**friend**」を使用してログオンしてください。

## 現在の設定のバックアップ

アクセスポイントの現在の設定をコンピューターにバックアップします。

1. 「ダウンロード」をクリックしてください。
2. メッセージ「設定をバックアップファイルとして保存します」が現れます。「OK」ボタンをクリックしてください。
3. 「ファイルのダウンロード」ダイアログボックスが現れます。「保存」ボタンをクリックしてください。
4. 「名前を付けて保存」ダイアログボックスが現れます。ご希望のパスを指定し、「保存」ボタンをクリックしてください。デフォルトのファイル名は「**config.xml**」です。フルパス名は254文字まで入力できます。
5. 「ダウンロードの完了」ダイアログボックスが現れます。「閉じる」ボタンをクリックしてください。

## 設定のリストア

設定のバックアップを本製品にリストアします。

1. 「参照」をクリックしてください。
  2. 「ファイルの選択」ダイアログボックスが現れます。バックアップファイル（**config.xml**など）を選択し、「開く」ボタンをクリックしてください。パスの入力欄にバックアップファイルがフルパスで表示されます。フルパス名は254文字まで入力できます。
  3. 「リストア」ボタンをクリックしてください。
  4. 設定をリストアする旨のメッセージボックスが現れます。「OK」ボタンをクリックしてください。
  5. 設定がリストアされると、本製品は再起動します。再起動には1~2分かかります。
  6. バックアップからリストアされたIPアドレスやパスワードを使用して、本製品にログオンし、設定が反映されていることを確認してください。
- 🔌 再起動が完了するまで本製品の電源を切らないでください。
  - 🔌 編集によって変更を加えたバックアップファイルをリストアしないでください。本製品が起動しなくなることがあります。

- 📁 バックアップファイルをリストアし、再度バックアップすると生成されるバックアップファイルのサイズが異なります。

## アクセスポイントの再起動

本製品の再起動を行います。

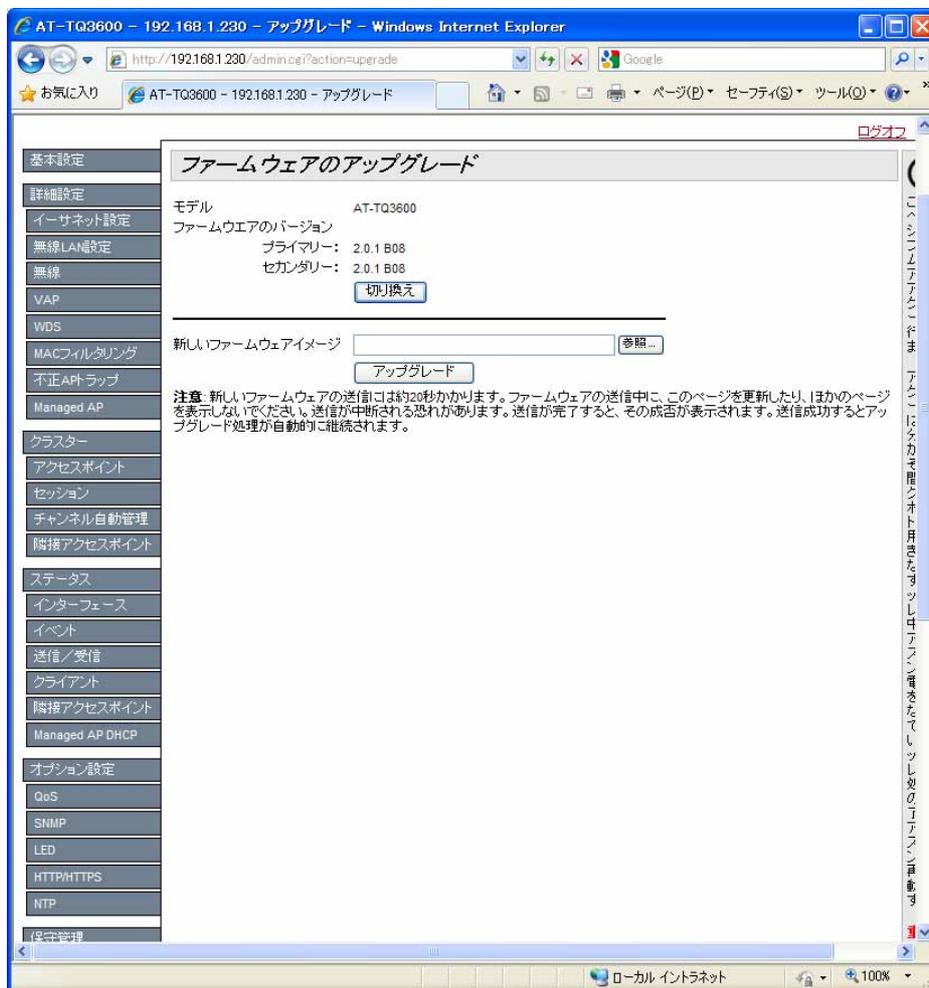
1. 「再起動」ボタンをクリックしてください。
2. アクセスポイントを再起動する旨のメッセージボックスが現れます。「OK」ボタンをクリックしてください。
3. 再起動には1～2分かかります。
4. 再起動完了後、ログオン画面が表示されます。

## リセットボタンの無効化

製品本体の RESET ボタンを無効にします。無効にすると、製品本体の RESET ボタンによるご購入時設定への初期化はできなくなります。デフォルトは「本体のリセットボタンを有効にする」です。

# アップグレード

本製品のファームウェアのアップグレードを行います。



項目名	説明
モデル	製品名が表示されます。 (例) AT-TQ3600、AT-TQ2450
ファームウェアのバージョン	プライマリー：ブートに使用するファームウェアバージョンが表示されます。 セカンダリー：予備のファームウェアバージョンが表示されます。デフォルトでは、アップグレードを行う前まで使用していたファームウェアのバージョンです。ご購入時は、プライマリー、セカンダリーとも同じバージョンとなります。

## (例) 2.0.1 B08

新しいファームウェアイメージ	新しいファームウェアの更新ファイルを入力します。「参照」ボタンでイメージファイルを選択できます。
----------------	--

表 1:

## アップグレード

本製品のファームウェアをアップグレードします。現在の設定は、アップグレード後も引き継がれます。

1. 「参照」をクリックしてください。
2. 「ファイルの選択」ダイアログボックスが現れます。新しいファームウェアのイメージファイルを選択し、「開く」ボタンをクリックしてください。パスの入力欄にファイル名がフルパスで表示されます。フルパス名は 254 文字まで入力できます。
3. 「アップグレード」ボタンをクリックしてください。
4. ファームウェアを更新する旨のメッセージボックスが現れます。「OK」ボタンをクリックしてください。
5. ファームウェアのダウンロードが開始され、状況を示す黄緑のバーが表示されます。
6. ダウンロード終了後、アップグレードが開始されます。アップグレードには 6 分を要します。アップグレードが完了すると、自動的に再起動します。新しいファームウェアはプライマリーに保存され、アップグレードの前まで使用していたファームウェアはセカンダリーに移動します。

☞ 再起動が完了するまで本製品の電源を切らないでください。

## 予備のファームウェアイメージでブートする

本製品は、2 種類のファームウェアイメージを保存することができます。アップグレード後に、以前のバージョンに戻りたい場合はセカンダリーのイメージを使ってブートすることができます。

手順は下記のとおりです。

1. 「切り替え」をクリックしてください。
2. メッセージ「ファームウェアを切り替えるために再起動します。よろしいですか?」が現れます。「OK」をクリックしてください。
3. プライマリーとセカンダリーのファームウェアイメージが入れ替わり、もとセカンダリーにあったファームウェアイメージを使って再起動します。設定は、アップグレード前のままです。
4. ログイン画面が表示されたら、管理者のユーザー名、パスワードを入力しログインしてください。

☞ プライマリーのイメージで正常にブートできない場合は、セカンダリーのイメージに自動的に切り替えてブートします。

☞ もとセカンダリーにあったイメージでブートした後に、再度ファームウェアのアップグレードを行うと、もとセカンダリーにあったイメージは再びセカンダリーに移動します。

☞ 再起動が完了するまで本製品の電源を切らないでください。